

名門代加列、次攝政以藏人奏事之由、一等拜舞、次諸卿著殿上豫居、攝政召藏人頭、仰頭以下禁色殿上人雜袍等之事、次諸卿起座、次藏人頭以下持參吉書於直廬令覽攝政、次上卿著陣座、次職事下吉書退出、次上卿召辨下之辨退去、次職事仰藏人頭以下禁色殿上人雜袍等之事、次上卿召外記仰禁色雜袍等之事、外記退入、次上卿起座、次職事於臺盤所、仰御乳母禁色之事、次供內侍所御供、次供御膳、朝陪膳藏人頭、夕陪膳殿上四位、次供朝餉御膳、次有大殿祭。

〔難波宗建卿記〕享保廿年三月廿一日、皇太子○櫻渡御于南殿○中宣制、此間皇太子令立御倚子前給、次新主御拜舞了還御休廬、內侍二人捧劍璽供奉前後、次舊主○中入御、事々了舊主渡御于別殿、伺候輩參別殿、今日有宜陽殿饗、今度御再興也、御讓位儀了、自新主被渡壺切御劍於院、院依爲御同居、劍璽不被爲渡大路。

〔友俊記〕延享四のとし五月二日○中今上○櫻御讓位、新主園桃七歳にならせたまふ、此日刻限大臣内前仗座につきたまひ、官人をして軾を乞かしむ、外記を召して諸司の具否をとはれ、つぎに辨を召て御輿の御さうぞくの事を仰せて起座、天皇南殿に出御、劍璽の内侍左右に候じ、近衛陣をひく、左右大將中少將の次將階下にたつ、陰陽反閑して闇司の奏、次に主鈴印の辛櫛をかき出す、少納言鈴を奏す、中務版位を撤す、次に御輿をよす、上達部次將階下に離列、主殿寮御座の覆を撤す、掃部寮筵道をしく、上薦次將すゝんで戸をひらき、御劍を御輿に入て乞ぞく、天皇駕御、大將警をせうす、次將すゝんで璽のはこを御輿にうつし、戸を閉て乞ぞく、公卿離列、前を先とす、御輿出御、大將御綱を仰、月花門を経て、右衛門陣代より出たまひて、諸臣前後に供奉、御輿櫻町殿中門に入らせたまひ、殿の階上に安じ奉る、これより先に公卿庭中に列立、東上北面左右大將および次將階下分立、上薦次將進で戸をひらき、御劍をとり内侍にさづけて乞ぞく、天皇下御、大將蹕を稱す、次將すゝんで璽筥をとりて内侍にさづく、戸を閉て退去、大將上達部次將、公卿くはゝり列に、中